

## ■テーマ展

# 「いわての女性展」 結婚・子育て・山里の暮らし —昭和のかあちゃん—

会期：平成21年 3月14日(土)～5月10日(日) 会場：特別展示室

昭和40年代頃までの、花嫁衣装等の婚礼資料、お産・子育て関連品を展示し、あわせて、僻地における母子保健の記録をひもときます。また、北上山系に生きる母親や家族の姿を三上信夫氏の写真等で紹介します。再現した農村の囲炉裏端で、昭和の家族の営みを体感してみてください。

トピック展として、江戸時代の化粧道具や調度品、離縁状、恋文等を公開します。

### (展示構成)

## 第一章 「結婚」

### I 婚礼—いわての婚礼—

第一章では、いわての婚礼に関する展示品をそろえました。

昭和38年、岩手県教育委員会が中心となって、民俗資料緊急調査事業が行われました。その中の「一生の儀礼」調査の一つとして、「明治末期の婚礼習俗再現」が、室根村津谷川の人々の大がかりな協力を得て、実施されました。当時、東磐井郡教育事務出張所社会教育主事であった村上護朗氏を中心となって、ほぼ完全な形で婚礼儀式を復活させたのです。その儀礼の型は、昭和30年代頃までは踏襲されていましたから、戦前戦後の婚礼の様子を明確に知り得る貴重な資料といえます。今展示では、発見された写真や8mmフィルム、調査資料を公開します。特に伊達藩における典型的な婚礼の流れを知ることができます。

また、花嫁衣装を7点展示します。農

厳しい自然環境や家制度の中でも希望を抱き、たくましく生き抜いたいわての母たち。激動の昭和の時代に苦勞を重ねながら、懸命に仕事に子育てに毎日を過ごした母たち。その生き方に、現代に生きる私たちが目を向け、母の存在について考える展示会です。

家族 (撮影 三上信夫氏)



川で野菜を洗う家族 (撮影 三上信夫氏)

出産直後 (撮影 山部俊夫氏)



家や商家の衣裳を始め、一つひとつの衣裳にそれぞれの物語があります。川井村鈴久名農協婦人部の人々は、「この鈴久名に生まれた娘ならどこへ嫁ごうと、あてやかな振袖姿でお嫁に行けるようにしてあげたい」との願いから、各家から繭を持ち寄って材料とし、織りや染めの資金は、下草刈り払い作業や東京での沢庵売りなどで調達し、昭和36年振袖をあつらえました。

婚礼祝いには、「高砂」(輿入れ用品一覧表)・角樽・提・湯桶・膳一式・三三九度盃一式などが並べられますが、今展示では、昭和2年、江刺区岩谷堂にある商家柏木本店で実際に使用した品を中心に展示します。古式ゆかしい婚礼の儀がしのべれます。さらに、明治初期の武家の婚礼のようすを、美しい絵巻物『陸奥の土風』(國香よう子氏蔵 二戸市指定文化財) から見てとることができます。

### II 母から娘へのおくりもの

#### — 嫁ぐ娘をおもう母の心 —

婚家に嫁ぐ娘のために生家の母が贈った着物、嫁いできた娘のために婚家の母が仕上げた紫根染め関連品、おもいはそれぞれです。岩手県指定文化財の岩泉紫根染一式(八重樫金十郎氏蔵)や紫根染の着物からわかること、それは、いわての女性にとって、着物の贈答が母娘(嫁)の絆を築き上げる上で重要な人生儀礼でもあったということです。

## 第二章 子育て

第二章では、お産に関すること・北上



『陸奥の土風』(二戸市 國香よう子氏 蔵)



「婚礼習俗再現」 (昭和40年 室根村 森口多里コレクションより)



花嫁衣装 (川井村鈴久名農協婦人部 蔵)



花嫁衣装・宮参り掛け衣装 (岩谷堂柏木本店 蔵)



岩泉紫根染一式 (八重樫金十郎氏 蔵)



えじこ (森口多里コレクションより)

山系の母子保健活動、いわての子育てについての資料を中心に展示します。

### I お産—いわてのお産と母子保健—

岩手県におけるお産は、昭和30年代頃までは自宅での自然分娩が中心でした。その出産にかかわる助産行為をおこなったのが、いわゆる「コナサセバサマ」あるいは「トリアゲバアサン」と呼ばれた地域に存在する産婆たちです。

「コナサセ」道具（浄法寺歴史民俗資料館蔵（二戸市指定文化財）・二戸歴史民俗資料館蔵）は、その助産活動に使用されたものです。祈禱にすがる当時の出産に対する考え方がうかがえます。コナサセバサマが臍の緒を切る際に使った竹製の「スゴロ」は二戸や浄法寺で発見されましたが、全国的にもほとんど残っていない貴重な品です。また、資格を有した産婆（助産婦）が戦前から使用した分娩道具一式（盛岡市 佐藤ムツ氏蔵）は、当時のいわてのお産のこゝろを知る手がかりとなるものです。



「コナサセ」道具（浄法寺歴史民俗資料館 蔵）

りとなるものです。

いわての僻地山村では、乳児死亡率が極端に高く、その改善に死力を尽くした人たちが数多くいました。地域医療に邁進した医師とそれを支える保健婦の活動は、私たちが後世に伝えていかなければならない使命を感じさせます。今展示では、北上山系を中心とした母子保健活動を紹介します。

### II 育児—いわての子育て—

産着・綿入れ・宮参りのかけ衣裳（岩谷堂柏木本店蔵）や簡便哺乳器・七五三衣裳を展示し、いわての子育てについて考察します。



山里の母たち（撮影 2 枚とも 三上信夫氏）

また、母としての西塔幸子の歌や残された資料（赤澤義昭氏監修）により、昭和初期における職業婦人の考え方についても思いをめぐらせた展示内容です。

## 第三章 「山里のくらし」

### —たくましく生きた、いわての母たち—

岩泉町等で教育委員会社会教育主事を務めた故三上信夫氏が撮影した写真を中心に、山里にくらす母や子どもたちのリアルな姿に、そのたくましさを感じるコーナーです。三上氏が綴った、女性の手記『働く母』『おんな』も自由に閲覧できるようにしました。（学芸調査員 熊谷道仁）



（囲炉裏端の母  
（森口多里コレクションより）

### トピック展

豪華絢爛!!

### 「江戸時代の女性—武家と庶民と—」

- ①水沢留守家家臣の母娘が使用した化粧道具・調度品（水沢区個人蔵）
- ②江戸時代のラブレター・赤子養育（制導御届）（水沢区 松本昭郎氏 蔵）
- ③離縁状（胆沢郷土資料館 蔵）



上 江戸時代のラブレター（水沢区松本昭郎氏蔵）  
下 「鉄仙唐草蒔絵鏡台」（水沢区個人蔵）

#### ■講演会 場所 岩手県立博物館講堂

講演会 I 「いわての女性に思うこと—身近なターシャたち—」

講師 山本 玲子 氏（石川啄木記念館学芸員）

日時 平成21年 3月22日(日) 13:30~15:00

講演会 II 「日本のスイス岩泉が教えてくれた母の心」

講師 坂本 ゆり 氏（岩手県教育委員）

日時 平成21年 4月26日(日) 13:30~15:00

#### ■展示解説会 場所 特別展示室 14:00~15:00

① 3月20日(金・祝) ② 3月29日(日) ③ 4月5日(日) ④ 4月29日(水・祝) ⑤ 5月6日(水・祝)

#### ■日曜講座 13:30~15:00 場所 教室

4月12日(日) 「いわての女性史—お産の歴史と母子保健—」(当館学芸調査員 熊谷 道仁)

5月10日(日) 「祈りと願いのかたち—岩手の安産・子育て信仰の諸相—」(当館学芸員 川向富貴子)

#### ■特別上映会 「葛巻の保健福祉の歴史—貧しく過酷な時代に、生活を守ろうとする地域全体の努力があった—」

(制作 葛巻町健康福祉課健康係) 日時 5月5日(火・祝) 10:00~11:30 / 13:30~15:00 場所 講堂

#### ■体験・DVD・閲覧コーナー

○体験コーナー 囲炉裏端に座ろう/えじこに入ろう/昔あそびをしよう/子守歌を聴こう(CD)。ご家族みんなでどうぞ!

○DVDコーナー 三上信夫と母たちの記録映像から

「明治末期婚礼習俗再現の記録」1965 (撮影 村上護朗氏)

○閲覧コーナー 『働く母』『おんな』(生活をつづる会 三上信夫編) 「盛岡高等女学校教科書(戦前)」